

Ⅳ 先修条件、卒業資格の要件等

1 先修条件について

先修条件とは、該当科目の履修前に指定された科目の単位取得をしていることを条件とするものです。

(1)実習科目について、下記の先修条件を定めています。

(平成 24 年度入学生に適用)

実 習 科 目	先 修 科 目
看護展開実習Ⅰ 成人領域	看護基礎実習Ⅱ、看護対象論Ⅱ、看護援助論Ⅲ、症状マネジメント論、治療看護技術論
看護展開実習Ⅱ 高齢者・居宅領域	看護基礎実習Ⅱ、高齢者看護援助論、居宅看護論、治療看護技術論
看護展開実習Ⅲ a こども領域	看護基礎実習Ⅱ、こども看護援助論
看護展開実習Ⅲ b 母性領域	看護基礎実習Ⅱ、母性看護援助論
看護展開実習Ⅳ 精神領域	看護基礎実習Ⅱ、精神看護援助論

(平成 25 年度入学生対象)

実 習 科 目	先 修 科 目	
看護基礎実習Ⅰ	1 年次後期開講の専門教育科目のうち必修科目	
看護基礎実習Ⅱ	看護基礎実習Ⅰ、2 年次前期開講の専門教育科目のうち必修科目	
看護展開実習Ⅰ 成人領域	2 年次開講の専門教育科目のうち必修科目	症状マネジメント論、治療看護技術論
看護展開実習Ⅱ 高齢者・居宅領域		高齢者看護援助論、居宅看護論、治療看護技術論
看護展開実習Ⅲ a こども領域		こども看護援助論
看護展開実習Ⅲ b 母性領域		母性看護援助論
看護展開実習Ⅳ 精神領域		精神看護援助論

(平成 26 年度以降入学生対象)

実 習 科 目	先 修 科 目	
看護基礎実習Ⅰ	1 年次開講の専門教育科目のうち必修科目	
看護基礎実習Ⅱ	看護基礎実習Ⅰ、2 年次前期開講の専門教育科目のうち必修科目	
看護展開実習Ⅰ 成人領域	2 年次開講の専門教育科目のうち必修科目	症状マネジメント論、治療看護技術論
看護展開実習Ⅱ 高齢者・居宅領域		高齢者看護援助論、居宅看護論、治療看護技術論
看護展開実習Ⅲ a こども領域		こども看護援助論
看護展開実習Ⅲ b 母性領域		母性看護援助論
看護展開実習Ⅳ 精神領域		精神看護援助論

IV 先修条件、卒業資格の要件等

6 卒業資格の要件

この要件どおりの単位を修得できなければ卒業できません。

科目区分	科目名		卒業要件	卒業必要単位数
			4年次 修得単位数	
共通教育科目	教 養	必修	2	必修9単位 選択必修13単位以上
		選択必修	12以上	
	グローバル コミュニケーション	必修	4	
		選択必修	1以上	
	情報の理解	必修	3	
専門支持科目	からだの働き	必修	10	必修25単位 選択必修2単位以上
	疾病と治療	必修	9	
	保健医療のしくみ	必修	6	
		選択必修	2以上	
専門教育科目	看護の基盤	必修	5	必修69単位 選択8単位以上
		選択	4	
	生活環境と看護の対象	必修	9	
	看護援助の方法	必修	38	
		選択	2	
	看護提供のしくみ	必修	6	
	グローバルヘルス	必修	2	
		選択	3	
	看護の統合と革新	必修	9	
		選択	3	
コミュニティヘルスケア	選択	2		
合 計				必修103単位 選択必修15単位以上 選択8単位以上

7 国家試験受験対策について

看護学部では、看護師・保健師・助産師国家試験受験へのサポートを計画的に行っています。国家試験対策講座（通年）を開講するとともに、「模擬試験」を実施し、知識の向上ならびに実力の把握に努めています。